

教員養成学校教員 対象フォローアップ

2009年12月に10日間実施しました。
バタンバン県(P.12カンボジア地図参照)で試用した音楽カリキュラム案をテキストとして使い、指導とともに、カリキュラム案の使用法も説明しました。内容はリコーダー指導が中心で、10日間のトレーニング後、多くの参加者が、ソプラノリコーダーで10曲以上ものクメール曲、外国曲を演奏する事ができるようになりました。今後、このカリキュラム案については、教員養成学校の音楽教員からの意見を参考に、より分かりやすく、実践の場で効果的に使用されるようなものに改良していく必要があります。

現職教員対象 フォローアップ トレーニング

音楽ワークショップ既卒者に対して各地域2日間、フォローアップトレーニングを行いました。本年度は、音楽コンテストの課題曲数が多かったため、課題曲の楽譜を見ながら音楽知識の確認等を行いました。2年間トレーニング既卒者の知識や技術の維持・向上のためには、1年に1度フォローアップをすることが不可欠となります。

合唱普及活動

11月に、日本人専門家山田三千夫氏が音楽コンテスト参加予定の38校を訪問し合唱指導を行いました。フォローアップ後すぐであったことから、まだ指導が行われていなかった学校もありましたが、山田氏のアドバイスの下、子ども達も一生懸命歌っていました。その成果として音楽コンテストでは二部合唱だけでなく見事な輪唱まで行える学校も出てきて会場を感動させました。

音楽コンテスト

2年間の音楽トレーニング既卒者の普段の音楽授業の成果発表の場として、また子ども達が1つの目標に向かって仲間とともに練習に励み、チームワークの大切さを知ったり、他の学校の発表を鑑賞する事により、音楽の良さや楽しさを知ることでできる場として、毎年音楽コンテストを行っています。2008年度から、県ごとだけでなく郡単位でも音楽コンテストを実施しています。音楽教育の大切さをより地域の人々や、参加する子ども達の両親にも知ってもらう良い機会となっています。本年度の参加校数は100校で、プレイベン県が新たに今年から音楽コンテスト開催地域として加わりました。また、本年度からは地域予選を終え、決勝進出校がより練習を重ね次につなげられるよう、決勝は、2010年5月末に実施することになりました。



第1位の発表を聞いて



結果発表前の
クデイタコイ小学校の子ども達

現地の声

【決勝出場校(小学校部門)紹介】
●カンダール県代表 クデイタコイ小学校
・音楽コンテストに参加する事ができ、とても嬉しいです。しかし、参加する生徒の人数分楽器が無いので、もし楽器が揃ってれば参加する子ども達もより楽しめるのではないかと思います。学校では、1年を通して私のクラスの子供達に音楽の授業を行っています。音楽は私自身とても好きで、楽しんでいます。そして子ども達にも伝統芸術を伝える機会にもなります。また次にJHPの音楽トレーニングがあったら参加したいです。(音楽指導教員 女性)

・私は今年から音楽の授業を受けていて、今年初めて音楽コンテストに参加しました。音楽の授業の中で楽器を演奏する事がとても好きです。特に鍵盤ハーモニカと小太鼓は私のお気に入りです。将来は音楽家になりたいと思います。(5年生 女性)

音楽指導員 (地域インストラクター) 育成

2010年1月に5日間のトレーニングを実施しました。地域インストラクターのトレーニングは、音楽知識を深めること、ピアノ、リコーダー等の楽器演奏技術の向上、指導法の習得などを目標に掲げています。5日間のトレーニングでは音楽知識を深めること、リコーダー演奏技術の向上に重点を置き、実施しました。参加者の感想として、初めはあまり得意でなかったリコーダーも、トレーニング後は沢山の曲が演奏できるようになって嬉しいという声が多くあがっていました。

本年度の熊本県海外技術研修員の候補生として、シハヌークビル県サクラ学園の音楽教師トウイ・チャンター氏を当会より推薦しました。現在は4月末に実施された電話選考試験の結果を待ちながら、毎日日本語学習に励んでいます。



マーチングバンド プログラム

①練習

・ワットブン中学校:5名のインストラクターにより、以下の日程で練習を行いました。
週3日間(木、金、土曜日:4月~10月)
毎日(但し11月~クアラルンプール国際大会出場まで)

・クラップ I 小学校:2名のインストラクターにより、毎週1日(土曜日3時間)の練習を行いました。
・サクラバルチュロイ小学校:1名のインストラクターと同校音楽教員1名により、毎週1日(土曜日3時間)の練習を行いました。

②指導者派遣

ワットブン中学校マーチングバンドが12月のクアラルンプールマーチングバンド国際大会に出場するに当たり、尾田一夫氏(8月、12月)、植田渉氏(10月~12月)を講師として派遣しました。

③パレード

8月12日に3つのバンドによるパレードを、ブンペン市内(独立記念塔公園など)で行いました。当日の様子は、Phnom Penh Postに掲載されたほか、テレビニュースでも放送され、代表小山内が取材を受けました。

④海外公演

12月15日~19日に開催されたクアラルンプールマーチングバンド国際大会にワットブン中学校のサクラマーチングバンドが参加しました。

12月16日の第1次予選(クアラルンプールサッカースタジアム)では、決勝出場権である75点以上の79.54点を獲得し、出場チーム9チーム中、8位でした。また、19日の決勝では、初出場であるにもかかわらず80.70点(銀レベル)を獲得し、第7位という成績を収めました。実施までの準備その他に多くの反省材料がありました。

音楽教材の作成 ・配布

①クメール曲生徒用教科書を4ページ分追加、改訂し追加印刷しました。
②外国曲生徒用教科書を10,150部印刷し、音楽プロジェクト参加校へ配布しました。
③音楽コンテストの課題曲を収録したカセットテープの中に、外国曲を収録し、各校に配布しました。

楽器・教材配布

①現職教員対象トレーニング参加校
(プレイベン県:19校)

2年間の音楽トレーニングに参加した教員が各学校で音楽授業を開始しています。(表1参照)

②現職教員対象トレーニング
(バタンバン県:25校)

トレーニング後の調査では、配布した教科書を各クラスに数冊ずつ分け、教室内で多くの子ども達が閲覧する事ができるようにしてある学校があり、有効活用されていました。(表2参照)

③音楽プロジェクト参加校(152校)

音楽授業がより充実した内容で実施されるよう、音声教材として144校にカセットプレーヤーを1台配布しました。音楽コンテストの課題曲を収録したカセットテープも同時に配布したことで、多くの学校で効果的に音声教材を使用しながら音楽授業を実施している様子が見られました。

④学校側の自助努力の例

楽器の部品の現地調達に関し、各学校で鍵盤ハーモニカの唄口に似たホースを市場で購入し使用していたり、小太鼓の肩掛けの紐を自分たちで工夫して作ったりしている姿が見られました。



外国曲教科書の表紙

表1:現職教員対象トレーニング(プレイベン県19校)での楽器・教材配布数

支援内容	1校の配布数	合計
鍵盤ハーモニカ	50	950
鈴	1	19
カスタネット	10	190
木琴	1	19
タンバリン	1	19
小太鼓	1	19
足踏みオルガン	1	19
教科書		
・クメール曲編	50	950
・外国曲編	50	950

表2:現職教員対象トレーニング(バタンバン県25校)での楽器・教材配布数

支援内容	1校の配布数	合計
クメール曲教科書	100	2,500
外国曲教科書	100	2,500
ソプラノリコーダー	100	2,500
CDプレイヤー	1	25
クメール曲収録CD	1	25
外国曲収録CD	1	25